

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

2 事業報告概要

地域の現状と課題について

中里北部地区は、古くからある住宅、昭和 40 年代中頃より開発された住宅、団地、そして昨年度、地区にあったテニスコート 3 か所が宅地造成され、新たな住宅が建てられる等、様々な世帯が混在しています。

中里北部地区は高齢化が少しずつ進んできており、平成 28 年 9 月末日現在、高齢化率は青葉区全体の平均を上回る 26.5%となっています。今後も高齢化が進んでいくものと考えられますが、年少人口はほぼ横ばいとなっています。

そのような中で中里北部地区は、様々な地域活動が活発におこなわれていると同時に、それらの活動から様々な意見を聞く事ができました。この意見を聞く過程の中で、地区にある学校や介護保険事業所等とも繋がりを持ち「かもマチ食堂」の取組みを進める事ができました。「かもマチ食堂」は、世代間交流の場となっており、この場で繋がった人たちが、さらに様々な地域活動に繋がっていくための支援を考えていきます。

また、地区内にはケアプラザに来るまでに、バスを乗り継がなければならない地区があります。この地区の方から「ケアプラザは遠い」という声をいただいており、今年度はその地域で、地域にある集まりの場を使い、事業をおこなう事もできました。

少子化と言われている中、年少人口がほぼ横ばいとなっている地域特性を生かす活動を今後もおこなっていきたいと考えます。

3 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

専門業者の定期点検等おこなっていましたが、28 年度は 3 か所、雨漏りによる大規模工事を入れる事になりました。今後も計画的に改修をおこなっていく必要があります。利用者が安心・安全・快適に利用できるよう、専門業者、区と連携を取っていきます。

外観に関しては、地域のボランティアの力もお借りし、花壇の整備をおこなう事ができました。

設備に関しては、職員による日常点検と専門業者による点検により、大きな故障に繋がる前に対処する事ができました。

イ 効率的な運営への取組について

今年度より職員会議の他に、多職種会議も開催し、職員間の連携に努めました。それぞれの部署の強みを活かし、それぞれの立場で事業に携わる事もできました。

経費削減の取組みも昨年同様、備品購入簿の作成や、相見積もりの依頼により、おこなう事ができました。

ウ 苦情受付体制について

苦情相談窓口の掲示を引き続きおこなってきました。また、要望を伝えやすい環境や、苦情に繋がらない対応を、職員全体研修を通して、職員間で共通認識を持つ事ができました。

また、法人に設置してある「第三者委員会」は年2回開催され、法人内での情報共有がおこなわれました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯体制については、夜間等職員不在時の業者によるセキュリティー管理を引き続きお行いました。毎朝の朝礼で、防犯意識について職員に再周知する事もありました。

特別避難場所として、応急備蓄物資の適正な管理を、台帳に基づき、行いました。

消防署の協力を得て、貸し館利用代表者と、火災時の煙体験や、水消火器による初期消火訓練をおこないました。

オ 事故防止への取組について

法人に設置してある「第三者委員会」には、ヒヤリ・ハットの集計も提出し、有識者のアドバイスを受けています。

事故報告、ヒヤリ・ハットともに、その日のうちに検討し、職員で共通認識を持ち予防に取り組みました。

常勤、非常勤問わず、全員が参加できる勉強会では、映像や高齢者疑似体験キットを用いて、ケアプラザで起こりえる事故について全員で考える事ができました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

「個人情報保護規程」「横浜市鴨志田地域ケアプラザ個人情報マニュアル」に基づき、個人情報保護にあたりました。

職員研修で「横浜市鴨志田地域ケアプラザ個人情報マニュアル」の読み合わせをおこないました。

月初、月末等、個人情報を多く取り扱う時期には、朝礼で注意喚起をしました。

キ 情報公開への取組について

ケアプラザ広報紙だけでなく、ホームページの活用、チラシの掲示等、あらゆる人へ情報が届くよう努めました。

ホームページで公開している、法人の運営状況に関して、今年度見やすい書式へ変更をおこないました。

ク 人権啓発への取組について

全職員が参加できる勉強会の場を使い、人権啓発について取り組みました。

小学校の人権週間を使いおこなった「認知症サポーター養成講座」後、講座で学んだ事を活かした事例があったと、小学校の先生より情報提供があり、子どもたちの自信に繋がったとのことでした。今後も、ケアプラザの人材、機能を地域へ提供していきます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

利用者が安心・安全・快適に利用できる範囲で、不要な電気の消灯等、省エネに取り組みました。

再度、ゴミ分別の用紙を職員に回覧する事で、ゴミの減量化、リサイクルへの意識啓発に努めました。

4 介護保険事業

(1) 介護予防支援事業

《職員体制》

- 保健師 1名（管理者兼務）
- 主任ケアマネジャー 1名
- 社会福祉士 1名

《目標に対する取組み状況》

・利用者の選択に基づいてサービスが提供されるよう、ホームページや事業所のパンフレットといった媒体を用いての説明を心掛けました。

申請やサービス調整では、関係者・関係機関との調整により早期の対応に努めました。

・地域包括支援センター内での情報共有により、担当職員の不在時に他の包括職員でも対応がおこなえるように努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 担当地域を超えた場合の移動にかかわる交通費

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	79	82	77	74	75
10月	11月	12月	1月	2月	3月
72	70	72	75	79	76

(2) 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 1名 (常勤兼務)
- 介護支援専門員 4名 (常勤専従1名 常勤兼務1名 非常勤2名)

《目標に対する取組み状況》

定期的に職員会議を開催し、職員間の連携を密にして、利用者の問題解決に努めてきました。また、新しい職員が、学べる機会を増やせるよう、職員研修や日常業務の中で、実践を意識した研修をおこなってきました。
2カ月に1回のケアマネジャー連絡会、毎月おこなわれている包括主催のカンファレンスには、積極的に参加してきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

区や地域包括支援センターと連携を密にし、利用者の問題解決に努めてきました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
67	61	64	62	62	59
10月	11月	12月	1月	2月	3月
56	55	58	59	61	60

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導 ●機能訓練 ●介護サービス ●健康状態の確認
- 送迎 ●給食 ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

I. 介護報酬にかかる費用

（利用者負担：介護保険負担割合証に定められた負担割合を適用）

区分	現在の介護度	通常規模単位（金額）		内容の説明
		1割	2割	
A 基本額	要介護1	656 単位（704 円）	1,312 単位（1,407 円）	7 時間以上 9 時間未満のサービス提供に対する 1 回あたりの料金
	要介護2	775 単位（831 円）	1,550 単位（1,662 円）	
	要介護3	898 単位（963 円）	1,796 単位（1,926 円）	
	要介護4	1,021 単位（1,095 円）	2,042 単位（2,189 円）	
	要介護5	1,144 単位（1,227 円）	2,288 単位（2,453 円）	
B 加算額	入浴介助体制加算（選択加算）	50 単位（54 円）	100 単位（108 円）	1 日につき
C 加算額	中重度者ケア体制加算（基本加算）	45 単位（49 円）	90 単位（97 円）	1 日につき
D 加算額	認知症加算（対象者のみ）	60 単位（65 円）	120 単位（129 円）	1 日につき
E 加算額	介護職員処遇改善加算（I） 介護報酬総単位数（A+B+C+E）×4.0%×10.72 の 1 割又は 2 割負担			1 月につき
利用額	A+B+C+D+E			

※送迎減算：事業所が何らかの理由で送迎を行なわなかった場合、負担額より片道 47 単位（504 円）を、減算します。

II 運営基準で定められた「その他の費用」（利用者全額負担分）

- ・食費負担（おやつ含む） 700 円/日
- 《事業実施日数》 週 6 日・祝日含む（月～土）
- 《提供時間》 9：45 ～ 16：45
- 《職員体制》・管理者 1 名 ・生活相談員 2 名
- ・看護職員 6 名・介護職員 14 名・機能訓練 4 名

《目標に対する取組み状況》

- ・地域包括支援センターへの相談や、居宅介護支援事業所への相談をおこないながら、虐待防止活動に取り組みました。
- ・利用者が、安心して生活を送るための支援を目標に、ターミナル期の方々のご利用を受け入れ、各サービス事業所と協力し、最期まで支援をすることが出来ました。
- ・相談員・看護師・介護職員の連携のもと、率先し重度の利用者の受け入れをしてきました。個別処遇をおこないながら、利用者が安心して過ごせるサービス提供に努めてきました。又、家族への支援も、連絡帳や電話等でおこないながら、身体変化に応じて、送迎手段や入浴後の処置など、居宅介護支援事業所と相談をしながら、迅速な対応が出来るよう、努めてきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・多くの方にデイサービスの運営を知っていただくため、デイサービスの入り口や建物の窓に、看板を取り付けました。
- ・地域活動交流事業と連携し、貸し館利用団体へボランティア活動の依頼をし、利用者との交流を深めていただくことが出来ました。
- ・新しい体操を取り入れ、定期的に体を動かすことで身体機能低下防止に努めました。約1か月続けることで、スムーズに体が動くようになったという声が挙がってきました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
495	520	504	509	495	451
10月	11月	12月	1月	2月	3月
431	432	391	406	400	415

介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導 ●機能訓練 ●介護サービス ●健康状態の確認
- 送迎 ●給食 ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

I 介護報酬にかかる費用

（利用者負担：介護保険負担割合証に定められた負担割合を適用）

区分	介護度	通常規模単位（金額）		内容の説明
		1割	2割	
A 基本額	要支援1 週1回まで	1,647 単位 (1,766 円)	3,294 単位 (3,532 円)	7時間以上9時間未満のサービス提供に対する1カ月あたりの料金
	要支援2 週1回利用 (第1号通所事業対象者)	1,647 単位 (1,766 円)	3,294 単位 (3,532 円)	
	要支援2 週2回利用	3,377 単位 (3,621 円)	6,754 単位 (7,241 円)	
B 加算額	介護職員処遇改善加算 (I)	介護報酬総単位数 ×4.0%×10.72の 1割又は2割負担		1月につき
利用額	A+B			

II 運営基準で定められた「その他の費用」（利用者全額負担分）

- ・食費負担（おやつ含む） 700 円/日

《事業実施日数》 週6日・祝日含む（月～土）

《提供時間》 9:45 ~ 16:45

《職員体制》

- ・管理者 1名 ・生活相談員 2名
- ・看護職員 6名 ・介護職員 14名
- ・機能訓練 4名

《目標》

・全利用者が、スムーズに総合事業へ移行することが出来ました。それぞれの生活に合わせ、支援をおこなっています。定期的にご利用いただいたことで、表情や身体機能が向上し、介護度の改善が見られた方も何名かいらっしゃいました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・月に1度の周期で個人アセスメントをおこない、生活相談や身体状況の確認をおこなってきました。

・歩行訓練の一環としてお部屋に白線を引き、各自が自分の意思で歩行訓練ができるような声掛けや、意欲を持っていただけるように取り組みました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
44	53	40	32	36	33
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	32	30	31	31	33

5 地域ケアプラザ

ア 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- ・相談者への適切な情報提供の為、区、区社協、関係機関とも連携を取り、対応しました。中学校へ地域活動ホームの情報提供ができました。
- ・地域の地図を使い、5職種会議で地域の特徴やニーズ等の情報共有を図りました。担当地域内の事業所へは、公正中立な立場から情報提供をし、地域活動団体とは、共に事業をおこなう事で敷居を低くするよう心がけました。
- ・地域関連団体の集まりに、5職種のうちの2名以上で参加する事で、ケアプラザ機能の周知、顔の見える関係づくりをおこないました。

イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携（生活支援体制整備事業も含む）

- ・多職種会議を月1回開催し、情報共有することでお互いの職種支援をおこないました。「かもマチ食堂」で地域の居場所づくりと、ケアプラザから遠い地区の方向けに、まちなかクラブで「健康づくり講座」を開催することで住民への支援ができました。
- ・民生委員や「ちょこボラ」活動者に地域ケア会議への参加を依頼し、地域に「ちょこボラ」がある事をさらに周知できました。また、活動者が「ちょこボラ」の会議で地域ケア会議の報告をし、他の活動者の意識づけとなりました。
- ・「かもマチ食堂」の実施にあたっては、各職種が地域ニーズの把握に努め、声掛けやミーティングへの参加、活動者へのフォローをすることで、定期的な開催に向けて進んでいます。

ウ 職員体制・育成

- ・法人独自の人事考課制度に基づき、年2回評価表の作成と目標の設定・振り返りを実施しています。非常勤職員を含めた年間の研修計画を作成し、実施しています。
- ・研修参加者は報告書を作成し、所内での回覧と、職員会議等での報告を通し、情報共有を図っています。非常勤職員を含めたケアプラザ内研修会では、資料・アンケート結果も全て全職員回覧としています。
- ・相談窓口でのリストの提示方法等は、職員間で共通認識のもとおこなっています。

エ 地域福祉のネットワーク構築

- ・区社協からのバックアップもあり、今年度より民児協の定例会に職員が参加する事で、相談を受けることが増えました。また、中学校の運営協議会委員を受任し、困りごと等に関しては、内部で共有し、専門機関に話を繋いでいます。

オ 区行政との協働

- ・地域福祉保健計画地区別推進会議には、地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援、全ての職種が関わり、取り組みました。また、地区行事には区職員と共に地域に出向く事が増えました。

6 地域活動交流部門

ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地区の祭りや行事に打ち合わせから関わりを持ち、状況を把握し、ボランティア会議や事業の際に案内をおこなっています。
- ・地域福祉保健計画や子育て連絡会等を通じて得た情報を、地域の活動団体とのミーティングや事業を企画する際に、所内の会議、担い手との打ち合わせで示す事で、活用しています。
- ・地区の会議や活動団体のミーティング、日常的に得た情報を取りまとめ、関係機関につなぎ、新たな連携も生まれています。
- ・館内に活動紹介を掲示するとともに、定期で開催している福祉保健活動については一覧表を作成し、利用者・包括、事業所等からの問い合わせに活用しています。団体同士の交流を目的とした事業、交流会では団体が抱えている困りごとを話し合う場を設けて、補完しあうことも増えました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ケアプラザの機能を広報誌や窓口、会議等でお知らせするとともに、ケアプラザ施設利用改定にともない、説明会を開き、活動例を紹介し、様々な世代で利用できることを案内しました。
- ・施設アンケートであげられている活動中の緊急時対応については、ボランティア交流会等を利用して、AED・消火器・通報・安全の確認について講習会を開きました。

ウ 自主企画事業

- ・地域住民による子育て支援、高齢者の活躍、あらゆる世代と繋がるための取り組みが求められている実情を踏まえて、所内で検討し、事業をおこなってきました。
- ・高齢、子育て、障害がそれぞれ定期利用しており、他の団体の利用を知る機会として、地域作業所と協力し、情報ラウンジでカフェ「ひるがお」をオープンしました。開催するにあたりボランティアを募り、多世代交流の場として定着してきています。
- ・包括職員と町内会館に出向き、介護予防の体操、レクリエーションをおこないながら、予定している事業の紹介をしました。他施設の職員とエリア内を歩き、地域での講座、場の検討もおこないました。
- ・昨年実施した事業や会議で作成したマップ、相談内容を所内で検討し、エリア内の施設連携と子育て世代から高齢者までの場づくりをおこないました。

エ ボランティアの育成及びコーディネート

- ・居場所づくりをすすめるにあたり、区役所、地区の関係団体、エリア内の高齢者施設、学校、地域の集まり場、会議、ミーティング等に出向き、新たなボランティアの発掘、声掛けをおこない、講座「みんなの居場所をつくりませんか」を実施しました。その後、みんなの居場所「かもマチ食堂」をオープンすることができました。
- ・各団体、高齢化による活動継続について相談を受けることがあり、地域に出向く際には活動紹介や貸館利用者へ働きかけをしています。また、他団体の活動へ参加していくこともすすめ、無理なくできる内容を調整することもあります。
- ・ボランティアが不足している団体の情報を区社協の担当者へ随時相談するとともに、ボランティアセンターより依頼のあった「傾聴ボランティア講座」に協力をしました。

7 地域包括支援センター

(1) 総合相談・支援

ア 総合相談

- ・対象者や相談者の個別性に応じた細やかな対応を、常に心がけています。最新の相談内容が把握できるよう、職員間での引き継ぎや記録の確認は随時行っておこなっています。
- ・対象者の個別性に応じて、フォーマル・インフォーマル共に必要な情報や資料が提供できるよう、資料は種類別に保管しています。相談時には、対象者がイメージしやすい言葉や表現で説明を行っています。
- ・一旦終了した相談事例・継続事例共に、すぐ確認できるように保管しています。必要に応じたの訪問や電話での状況確認をおこなったり、顔を合わせた時には声をかけたりと、ちょっとしたことでも相談できるような関係作りを心がけています。

イ 地域包括支援ネットワークの構築

- ・地域の社会資源である介護保険事業所や薬局には、年数回事業所訪問をして、事業案内や会議の出席依頼等おこなっています。
- ・所長、地域活動交流と共に地域の会合やイベントにはできる限り出席をし、ケアプラザや包括のPRに努めたことで、会合への出席依頼も徐々に増えております。民生委員の研修担当の方と一緒に研修も企画しています。
- ・地域ケア会議にエリア内の介護保険事業所や薬局、民生委員に出席して頂いたことが反響を呼び、今年度よりエリア内の介護保険事業所、民生委員を対象とした勉強会を実施しています。不定期ですが継続予定です。

ウ 実態把握

- ・毎年の相談件数と、区の統計資料等を合わせながら、地域ケア会議の事例・テーマを選定しています。また、地域活動交流と共に、マップに情報を落としこんだものも、今後役に立てられるよう検討中です。
- ・地域ケア会議や関係機関との情報交換により、連携して、たちばな台での事業の企画をおこないました。また包括分科会で作成した区内のインフォーマル情報や、地区別推進会議で作成した「高齢者向けお役立ち情報」等からサービスの把握をおこなっています。

(2) 権利擁護

ア 権利擁護

- ・区やケアマネジャーと連携をしながら、成年後見制度の申立てに繋げた事例もあります。認知症の方については、少しの変化も見逃さないよう、随時関係機関と連絡を取り合っています。
- ・「遺言・相続講座、個別相談会」を実施し、講座内でも成年後見制度について組み込みました。ケアマネジャーからの相談が入った際にも、事例を把握し、必要に応じて同行訪問や情報提供をおこなっています。
- ・今年度も区長申立が必要と思われる事例はありませんでしたが、複数の検討事項がある場合には、区役所にも随時相談をし、面談時に同席していただいています。

イ 高齢者虐待

・気になる事例や継続して関わっている事例については、随時ネットワークミーティングを実施し、今後の見通しを踏まえながら次のミーティング時期を決め、区と一緒に対象者やケアマネジャーと関わっています。緊急性の高い事例は、関係者間でタイムリーな情報共有ができるよう、こまめに連絡を取り合いました。

ウ 認知症

・年々認知症に関する相談が増えている状況を踏まえ、地域ケア会議でも認知症の事例をテーマに選定しました。「認知症への正しい理解」が地域に広まるよう、会議を通じて学び・振り返りができるような内容も、盛り込んでいます。

・地域ケア会議で認知症をテーマに取り上げたことをきっかけに、事業所から認知症サポーター養成講座を依頼される機会も増えました。依頼者と時間帯や講座内容を事前に打ち合わせ、実施しています。

・医療・介護サービスに繋がらないケースについては、認知症初期集中支援チームとの連携や、もの忘れ相談、オレンジガイドの活用等、個別に応じた対応をしています。

・「介護者のつどい」の開催回数を、年5回から8回に増やしました。介護者が参加しやすい場となるような雰囲気作りを心がけています。

(3) 介護予防マネジメント

ア 介護予防ケアマネジメント力

・要支援者に対しては、目標指向型の介護予防ケアマネジメントに向けて、主体性・意欲を引き出せるような目標について話し合いを通し取り組んでいますが、本人の意向（現状の維持、介護予防理念の理解不足）により難しい事があります。

・給付以外にも、ちょこボラの利用や配食、ケアプラザ事業や元気づくりステーションへの参加、といったサービスを状況に応じて利用に繋げる支援を行っています。

・介護予防従事者研修を通して、ケアマネジャーに介護予防ケアマネジメントについて周知し、サービス担当者会議への参加や、日々の業務でケアマネジャーからの相談に対応しています。

・平成28年7月に3包括合同で、10月には区内全包括合同で、居宅介護支援事業所を対象に、介護予防従事者研修を、3職種で連携しながら企画・実施しました。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・インフォーマルサービスについては、社会福祉士が作成している「あおば生活情報」や、ケアプラザで取りまとめている媒体を使用し、情報提供しています。相談対応や事業所訪問の時など、必要に応じて配布しています。

・今年度はエリアの地域ケア会議の中で、ケアマネジャー業務について、地域の主任ケアマネジャーに、説明を依頼しました。

・地域ケア会議や、今年度から始めたケアプラザ勉強会の場で、民生委員や介護保険事業所、薬剤師等多職種で顔を合わせる機会を作っています。

イ 医療・介護の連携推進支援

- ・毎年、近隣の包括と合同でカンファレンスを開催し、ケアマネジャーと訪問看護、薬剤師、在宅医療連携拠点を対象としたグループワークを実施しています。医師との連携については、ケアマネジャー連絡会で毎年1回開催しています。
- ・エリア内の薬局に訪問し、勉強会の案内や地域ケア会議への参加を依頼しています。
- ・在宅医療連携拠点とは随時連絡を取り合い、包括カンファレンスや地域ケア会議への出席を依頼しています。包括3職種の医療連携チーム会議にも出席を依頼し、1月には共催で事例検討会を実施しました。市民向け講演会への協力をしました。

ウ ケアマネジャー支援

- ・事業所訪問や電話連絡で、少しでも話をする機会を作るよう、心がけています。支援困難事例については、状況確認や各種会議の開催支援、同行訪問もおこないました。勉強会やカンファレンスは、他包括と協力して実施しています。
- ・近隣包括合同と、区内合同で、介護予防従事者研修を2回実施しました。「自立支援」に向けたケアプラン作成に繋がるようなテーマとし、インフォーマルサービスの紹介もおこなっています。

エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・地域ケア会議については、開催するテーマに応じて、多職種の方に参加して頂けるよう、日程調整や事前準備、事例選定を行っています。
- ・地域ケア会議で取り上げているテーマと地域福祉保健計画が重なる部分もあり、今後の取り組みや多職種との繋がりを作る機会として、ケアプラザ内でも随時話し合いや、情報の擦り合わせをおこなっています。
- ・地域づくりや資源開発に取り組むにあたり、ケアプラザ職員をはじめ、多職種のスキルアップが必要と考えています。ケアプラザ勉強会の場を活用し、今後は様々なテーマで勉強会を実施したいと予定しています。

(5) 介護予防事業

ア 介護予防事業

- ・ケアプラザ事業や総合相談等から、地域の高齢者と接する機会には状況に応じて、媒体を使用しながら介護予防事業の情報提供する事で参加につながる事もありました。
- ・元気づくりステーションでは、参加者が活動時や日常生活時にステーションについてPRする事で地域内での活動の輪を拓けるよう働きかけています。開催回数についても、話し合いの機会を持ち、月1回から2回に増やしています。

(6) 生活支援体制整備事業

ア 実施したこと

- ・生活支援コーディネーターが、資源情報についてまとめたものを、多職種会議の中でどのような形が良いのか、情報の更新をどうおこなっていくか、話し合いを始めており、さらなる分析が必要と思っています。
- ・現状では、目標や取り組み事項の設定を検討している段階です。上記の分析結果に基づいて、焦点を定めていく予定としています。
- ・多職種会議の中で共有・検討をしており、協議体の形態や参加者、取り組むべき地域課題を各職種から意見を挙げ、検討をすすめているところです。
- ・生活支援体制整備事業と、生活支援コーディネーターの説明を、6月と12月の運営協議会でおこないました。民児協定例会等の会議の場を使い、事業の周知をしています。
- ・昨年作成した地図や地区アセスメントを基に、区や区社協と情報提供し合う事ができました。包括カンファレンスや、「かもマチ食堂」の打ち合わせに参加し、個々に抱える課題を確認しています。
- ・運営協議会や地域福祉保健計画地区別推進会議の場を使い、地域の現状や課題の意見交換をおこないました。

8 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市鴨志田地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	14,807	23,437	151	0	0	579	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	0	8,216	57,724	761	0
	その他	993	1	0	3,550	1,655	2,257	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	3,550	1,063	0	0	0
	その他の収入	993	1	0	0	0	0	0	0
	利用者等利用料収入	0	0	0	0	0	1,675	0	0
	その他の事業収入	0	0	0	0	0	582	0	0
	受託収入	0	0	0	0	592	0	0	0
収入合計(A)	15,800	23,438	151	3,550	9,871	60,560	761	5,789	
支出	人件費	12,021	15,872	1	0	12,896	58,380	0	1,207
	事務費	1,831	1,866	1	0	996	4,259	0	
	事業費	450	504	131	0	174	5,572	0	0
	管理費	4,327	1,150	0	0	65	4,674	0	
	その他	0	3,774	0	2,256	0	0	0	2,477
	施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0	0	0
	戻入額	0	3,774	0	0	0	0	0	2,477
	他事業者原案作成委託料	0	0	0	2,256	0	0	0	0
支出合計(B)	18,629	23,166	133	2,256	14,131	72,885	0	3,684	
収支 (A) - (B)	-2,829	272	18	1,294	-4,260	-12,325	761	2,105	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
知っておきたい眼の健康講座	地域住民	3478	3478		3478		
	20人						
	0円						
小児救命救急講座	地域住民	0					
	20人						
	0円						
懐かしのうたごえ広場	地域住民	0					
	30人						
	0円						
誰でもコンサート	地域住民	0					
	40人						
	0円						
おとなのペーパークラフト	地域住民	11000		11000		11000	
	8人						
	500円						
ケアプラザフェスタ	地域住民	209490	24190	185300		209490	
	300人						
	200円						
小学生向け認知症サポーター養成講座	小学生	0					
	60人						
	0円						
新春囲碁大会	地域住民	25000		25000		25000	
	24人						
	1000円						
ボランティア交流会	ボランティア	15052	15052			15052	
	30人						
	0円						
健康マージャン大会	地域住民	16533	533	16000		16533	
	16人						
	1000円						
認知症について学ぼう	地域住民	0					
	30人						
	0円						
健康づくり講座	地域住民	0					
	5人						
	0円						
		2126585	428985	1697600	782288	1342594	1703

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域交流デー	地域住民	20244	744	19500		20244	
	100人						
	100円						
夏季囲碁大会	地域住民	24000		24000		24000	
	24人						
	1000円						
夏休み子どもコラージュ	小学生	756	756			756	
	10人						
	0円						
ママたちのピラティスヨガ	子育て	10500		10500	10500		
	15人						
	500円						
ゆたかな食事で健康長寿	地域住民	0					
	20人						
	0円						
パークラフト夏の特別講習会	地域住民	6500		6500		6500	
	8人						
	500円						
サマーコンサート	地域住民	0					
	30人						
	0円						
みんなの居場所を考えませんか	地域住民	0					
	35人						
	0円						
子ども国際文化交流会	小学生	12063	12063			12063	
	20人						
	0円						
かもマチ食堂	地域住民	83838	288	83550		83838	
	50人						
	100円						
書を楽しむ会	地域住民	40035	35	40000		40035	
	10人						
	6000円						
消しゴムはんこで年賀状とぼち袋を作ろう!	地域住民	5000		5000		5000	
	5人						
	1000円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
絵手紙教室	地域住民	11700	0	11700		11700	
	10人						
	300円						
歴史さんぽを楽しむ会	地域住民	0					
	15人						
	0円						
歴史講座	地域住民	15000	15000	0	15000		
	20人						
	0円						
健康体操ひまわり会	高齢者	121500		121500	121500		
	20人						
	500円						
リフレッシュエアロ	地域住民	136600	94600	42000	136600		
	15人						
	300円						
にこにこ！健康マージャン教室	地域住民	32225	225	32000		32225	
	16人						
	2000円						
サロン健康マージャン	地域住民	0					
	16人						
	0円						
子育てママのおうちヨガ	子育て	94000		94000	94000		
	15人						
	500円						
畑プロジェクト	地域住民	110140	32140	78000		110140	
	20人						
	6000円						
鴨志田フォトクラブ	地域住民	52225	3025	49200		52225	
	20人						
	2000円						
はまちゃん体操	高齢者	0					
	15人						
	0円						
お茶の手習い	地域住民	33500		33500		33500	
	10人						
	500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
デッサンから始めよう！	地域住民	80000	0	80000	80000		
	20人						
	500円						
シルバーリハビリ体操	高齢者	97913	19913	78000	96210		1703
	10人						
	500円						
くらしの生け花はなあそび	地域住民	168000	0	168000		168000	
	15人						
	800円						
布あそび	地域住民	116000	0	116000		116000	
	10人						
	1000円						
唄声喫茶	地域住民	380091	140641	239450	225000	155091	
	35人						
	400円						
鴨のお茶の間	地域住民	21066	11366	9700		21066	
	15人						
	100円						
鴨志田ウォーキングクラブ	地域住民	8184	184	8000		8184	
	15人						
	500円						
鴨のお楽しみ会	地域住民	13784	284	13500		13784	
	10人						
	300円						
介護者のつどい	介護者	0					
	10人						
	0円						
笑和会	地域住民	59731	7231	52500		59731	
	15人						
	500円						
カフェひるがお	地域住民	11933	733	11200		11933	
	15人						
	100円						
悠夕みのりサロン	地域住民	79504	46504	33000		79504	
	15人						
	500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	ボランティア同士の横のつながりを持つ機会としておこないました。ミニデイサービス、高齢者のお食事会、子育て広場、障害児者の活動ボランティア等の紹介後、茶話会にて活動の困りごとを話し合い、解決策を互いに出し合うなど、横のつながりを深める機会となりました。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康マージャン大会	地域住民の交流を目的、ボランティア活動のきっかけとしておこないました。貸館利用団体、サロン参加者が共同で企画。実施しました。参加をきっかけに他の事業や活動を行き来する方もおり、地域住民の知り合う機会となっています。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症について学ぼう	認知症への理解を深め、地域でどのような支援ができるかを考えることを目的におこないました。中里北部地区のボランティア活動者の提案で企画・実施しました。認知症についての講話後にグループにて感想、見守りについて意見交換をおこないました。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり講座	主に高齢者対象の健康講座を実施しました。地域住民の集まり場に出向き、近隣の施設職員による体操の他、介護保険についての講話をおこないました。	年4回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おとなのペーパークラフト	地域住民の活躍する場、ボランティア活動を広げ、住民同士の顔の見える関係づくりを目的におこないました。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザフェスタ	ケアプラザ周知、ボランティア活動を広げる目的でおこないました。サークルの作品展示、ステージ、模擬店を事業参加者、貸館利用者、ボランティアの協力を得ながらおこないました。来所をきっかけにボランティア活動につながっています。	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生向け認知症サポーター養成講座	エリア内の小学生対象の認知症サポーター養成講座。人権について学ぶ機会として実施しました。認知症についての講話のあとは、グループワークにて町で困っている人について、どんなことが出来るかなどを話し合い、各グループより発表しました。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新春囲碁大会	地域住民の仲間づくり、ボランティア活動の普及啓発を目的におこないました。企画から当日の会場設営、進行まで囲碁サロンの方が協力しながら行ないました。参加をきっかけに事業のサポート役として活躍する機会も増え、地域活動へ興味・関心を持つ機会となっています。	1月・1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
知っておきたい 眼の健康講座	医師による健康講座。眼の病気、健康管理、日常生活の留意点、受診の方法等、参加者の質問に答えながらすすめました。講話終了後も個別で診療に関するアドバイスもあり、日々の生活に生かせる内容でおこないました。	11月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小児救命救急講座	地域の子育て広場を利用して、救命救急講座を実施しました。地区の消防署職員によるAEDの使い方、家の中での事故や注意すること、救急車の呼び方の説明の後に茶話会形式で個人のほか、ボランティアからの質問もあり広場の運営にも役立てていただく機会となりました。	11月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
懐かしのうたごえ広場	歌を通しての地域住民の仲間づくりとして開催しました。ギター演奏に合わせて歌唱、休憩時間には近隣の方同士の情報交換の場になりました。	11月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
誰でもコンサート	近隣の施設と共催し、地域の顔の見える関係づくりを目的におこないました。子どもからおとなまで幅広く募集したことで、施設入居者、未就学児の親子参加もあり、多世代交流の場、近隣の施設紹介を設け、エリア内の横のつながりを深めることができました。	12月・1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども国際文化交流会	主に小学生向けの異文化交流を目的に行ないました。当日はエクアドルの方を招き、日々の暮らし、学校の様子、食べ物や遊び、音楽等文化を学び、おやつ作りも参加者と一緒に楽しみながらおこなうことができました。	10月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かもマチ食堂	子どもからおとなまで、孤立化を防ぎ、地域住民のつながりを深める目的でおこなっています。食事の用意を子どもと一緒にこない、フロアでは折り紙、草笛、将棋、編み物などそれぞれ自由に過ごす時間が顔見知りになるきっかけとなっています。	毎月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書を楽しむ会	書道をきっかけに地域住民の交流を目的におこなっています。講師は地域にお住まいの方が務め、近隣の情報交換の場にもなっています。	毎月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消しゴムはんこで年賀状とぼち袋を作ろう！	地域住民の交流を目的におこないました。近隣にお住まいの子育て世代の方が講師を務め、多世代交流の機会となりました。	11月・1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆたかな食事で健康長寿	食生活改善推進員と共催で、シニア向けの食をテーマに健康講座をおこないました。1日の野菜摂取、減塩、栄養バランスのお話しと調理実習、ロコモ体操を通して、健康意識を高める機会となりました。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペーパークラフト夏の特別講習会	地域住民の交流を目的におこないました。講師は近隣住民が務め、折り紙講座の参加者が企画から関わり実施しました。当日は小学生の親子、祖父母の参加もあり、多世代の交流の場となりました。	夏1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーコンサート	音楽を通して多世代交流を目的におこないました。鍵盤ハーモニカと竹笛の演奏を、前・後半に分け子どもからおとなまで知っている曲を楽しみ、多世代が交流する機会となりました。	夏1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの居場所を考えませんか	地域のコミュニティ、あらゆる世代の顔の見える関係づくりを目的におこないました。自治会、学校関係者、高齢者施設職員、ボランティア等幅広く参加し、居場所づくりについて検討しました。	9月・1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域交流デー	ボランティア同士のつながり、地域住民向けに活動紹介をしながら、多世代の交流を図っています。流しそうめんや絵手紙、お茶会、折り紙体験コーナーをつくり、子どもからおとなまで集う場となっています。	夏1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏季囲碁大会	ボランティア活動のきっかけ、地域の仲間づくりを目的におこないました。事前準備、当日の会場設営、進行等参加者が協力しあいながら行ないました。	夏1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み子どもワークショップ	ケアプラザ周知を目的におこないました。自由な作品作りを通して、地区内の違う学校の子も同士が触れ合う機会となりました。講師は近隣のお住まいの方が担い、参加者とコミュニケーションをとりながら、個々の希望に沿った作品ができました。	夏3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママたちのピラティスヨガ	子育て世代のリフレッシュ、交流を目的におこないました。未就学児の親が参加できるように、子どもと一緒に参加できる時間を設け、学童期の保護者との交流の、情報交換の場となりました。	年2回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
畑プロジェクト	農作業を通して、地域住民の顔の見える関係づくりを目的におこなっています。地区のお祭りや地域で立ち上げた食堂等に協力をするなど、活動が広がってきています。	年74回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨志田フォトクラブ	地域住民の交流の場としておこなっています。四季に応じた、写真撮影会と親睦会、講評会を行ない、定期的に作品展示もあり、参加者の交流の輪が広がってきています。	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操	介護予防を目的に健康維持、向上を目指して体操をおこなっています。場所は気軽に参加できるようケアプラザのラウンジを利用してはまちゃん体操、歌に合わせたリズム体操のあとは、オセロやトランプなどをしながら、参加者の情報交換の場として活用していただいています。	年51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶の手習い	地区のコミュニティハウスを利用して、お茶を学び住民同士の交流を図る場としておこなっています。	月1回・12回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リフレッシュエ アロ	健康維持・向上を目指して、参加をきっかけに地域住民の仲間づくりとしておこなっています。受付、会場設営は参加者も関わり、役割を持ちながらの開催となっています。	年20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ！健康 マージャン教室	地域住民の交流を目的に行なっています。貸館利用団体が協力者として当日の進行、アドバイザーを務めています。	年19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン健康マ ージャン	地域住民の居場所、仲間づくりを目的におこなっています。見守り、講師は貸館利用団体等に依頼して、参加者もできる限り準備・会場設営等おこない、協力しながらの開催となっています。	23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てママのお うちヨガ	子育て世代のリフレッシュ、参加をきっかけに情報交換の場となっています。講師は地域住民が務め、参加者は乳幼児から学童期の子を持つ母親、高齢者まで幅広く、多世代の交流を持つ機会となりました。	8回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絵手紙教室	絵手紙を作成することをきっかけに、地域住民の情報交換の場になっています。	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歴史さんぽを楽しむ会	地域の歴史を学び、地域活動への興味関心を深めることを目的におこなっています。ルートの設定、資料準備を参加者が積極的におこない、当日の進行等それぞれが役割を持ちながら実施しています。	年13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歴史講座	地域の情報交換、住民同士の顔の見える関係づくりを目的におこないました。区内在住の方が講師を務め、町の歴史について講話と、まち歩きを行ない、参加をきっかけに、他の事業でボランティアとして参加してくださる方もおり、活動の幅が広がってきています。	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康体操ひまわり会	高齢者の介護予防を目的に行なっています。ストレッチ、レクリエーション、リズム体操の他、食事会、茶話会等親睦を図りながら開催しています。	年23回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者の抱えている問題の把握、介護者同士の情報共有、相談しあえる関係づくりを目的に開催しています。テーマは特に設けず、介護者の抱えている悩み、思いを伝えあい、対応方法を考える機会となっています。	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑和会	主に男性対象の食事作りを通して、地域に興味関心を深める目的でおこなっています。各担当月に献立作成、材料の買い出し、当日の進行を担いおこなっています。季節ごとに親睦会も企画し、住民の仲間づくりの場となっています。	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェひるがお	地域作業所と連携し、障害者への理解を深め、住民との交流を図る目的でおこなっています。場所は館内のラウンジを活用して、パンの販売と喫茶をボランティアが共同で開いています。	年19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
悠夕みのりサロン	地域住民の知り合うきっかけ、孤立化を防ぎ関係を深めることを目的におこなっています。毎回食事作りの他、歴史、健康、防災を視点に栄養講座等、コミュニケーションをとりながら、開催しています。	毎月1回・12回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
唄声喫茶	歌を通して、地域住民の交流の場としておこないました。手作りの歌集を使い、会場準備、片づけ等参加者同士がコミュニケーションをとりながらおこなっています。ケアプラザのお祭りのステージで発表するため、年間の予定を組みながらおこなっています。	年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨のお茶の間	地域住民の情報交換、声のかけあえる関係づくりを目的におこないました。お茶の作法を学び、地域の活動へも出向き、お茶をふるまうなど、参加者が担い手となり、活躍していただいています。	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨志田ウォーキングクラブ	健康維持、地域住民の輪作りを目的におこなっています。参加者がルート検討、当日の進行の他、親睦会を設け、コミュニケーションをとりながらおこなっています。	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨のお楽しみ会	地域住民の仲間づくりを目的におこなっています。講師は近隣住民が務め、季節にあった作品作りを親睦を図りながら行なっています。	年6回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
デッサンから始めよう！	地域住民の交流を目的におこないました。デッサン、水彩画、水墨画など参加者の希望に合わせて、自由に学べる講座です。	毎月1回・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーリハビリ体操	介護予防を目的に健康維持・向上を目指す体操教室です。エリア内の施設の理学療法士が講師を務め、個々の身体状況に合わせて、ストレッチやボールを使った運動をおこない、レクリエーション形式のメニューも取り入れ、参加者同士が親睦を図りながらおこなっています。	月2回・24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くらしの生け花はなあそび	地域住民の仲間づくりを目的におこないました。地域にお住まいの方が講師となり、材料の準備、会場設営は参加者とともにおこない、手作りの会となっています。	年17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布あそび	キルトの作品作りを通して、地域住民の仲間づくりを目的におこないました。講師は近隣にお住まいの方に依頼し、参加者と交流を持ちながらの開催となっています。	年11回